

別記

個人情報取扱特記事項（案）

（基本的事項）

第1 貸貸者は、個人情報（個人に関する情報であつて、特定の個人が識別され、又は識別され得るものをいう。以下同じ。）の保護の重要性を認識し、この契約による業務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適正に行わなければならない。

（秘密の保持）

第2 貸貸者は、この契約による業務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても、同様とする。

2 貸貸者は、この業務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、この契約による業務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならないこと及びその他個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

（保有の制限等）

第3 貸貸者は、この契約による業務を行うために個人情報を保有するときは、その業務の目的を明確にするとともに、業務の目的の達成に必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

2 貸貸者は、この契約による業務を処理するために本人から直接書面に記録された当該本人の個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、業務の目的を明示しなければならない。

（適正管理）

第4 貸貸者は、この契約による業務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

（利用及び提供の制限）

第5 貸貸者は、貸借者の指示又は承認があるときを除き、この契約による業務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために自ら利用し、又は提供してはならない。

（作業場所の指定）

第6 貸貸者は、貸借者の承認があるときを除き、この契約による個人情報を取り扱う業務を処理するときは、貸借者の指定する場所において行わなければならない。

(複写、複製及び持ち出しの禁止)

第7 貸貸者は、賃借者の承認があるときを除き、この契約による業務を処理するために賃借者から引き渡された個人情報記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

(再委託の禁止)

第8 貸貸者は、賃借者の承認があるときを除き、この契約による個人情報を取り扱う業務を第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。

(資料等の返還)

第9 貸貸者は、この契約による業務を処理するために賃借者から引き渡され、又は自ら収集し、若しくは作成した個人情報記録された資料等は、業務完了後直ちに賃借者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、賃借者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

(事故報告)

第10 貸貸者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに賃借者に報告し、賃借者の指示に従うものとする。

(実地調査)

第11 賃借者は、貸貸者がこの契約による業務を処理するために取り扱っている個人情報の状況について、随時、実地に調査することができる。

(指示)

第12 賃借者は、貸貸者がこの契約による業務を処理するために取り扱っている個人情報について、その取扱いが不相当と認められるときは、貸貸者に対して必要な指示を行うことができる。

(契約解除及び損害賠償)

第13 賃借者は、貸貸者がこの個人情報取扱特記事項の内容に違反していると認めるときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。